

調査団報告書

調査No.64

調査内容

家に犬のおもちゃがあるんだけど、おばあちゃんに聞いたら、それは「犬張子」っていうんだって。「犬張子」について教えて。

調査手順

『日本人形玩具辞典』で「犬張子」を調べてみると、室町時代に京都の上流階級の間で、犬の形をした張り子製の犬篋いぬばこを産室に飾る風習があったらしい。というのも、犬は出産が軽く、子の成長がよいことによったのだそうだ。江戸中期以降、犬の立ち姿を模した江戸の犬張子が出現し、代表的な江戸玩具に数えられたという。それでは、名古屋との関わりを調べてみよう。

調査結果

『日本郷土玩具事典』や『郷土玩具辞典』には、「名古屋の張子」が明治初期から中期の頃に始まったことが書かれており、その中に「犬張子」も挙げられている。犬張子は古来より縁起もので、子どもの無病息災と無事成長を祈り、お宮参りのお祝いにも使われているが、その伝統的な製作者は少なくなってしまったようだ。

今回の調査で使った資料

『日本人形玩具辞典』 斎藤良輔／編 東京堂出版 1968

『日本郷土玩具事典』 西沢笛畝／著 岩崎美術社 1983

『郷土玩具辞典』 斎藤良輔／編 東京堂出版 1971

『新修名古屋市史 第9巻 民俗』 新修名古屋市史編集委員会／編集 名古屋市 2001

『新修名古屋市史 資料編民俗』 新修名古屋市史資料編編集委員会／編集 名古屋市 2009

『なごや地方の郷土玩具』 名古屋観光推進協議会／編 名古屋観光推進協議会／編 1976

作成：名古屋市図書館 名古屋なんでも調査団

